

私とオリンピック

—SAPPORO '72 コレクション—

対馬 一男

1. 札幌で最も高いビル

1972年2月に開催された第11回冬季オリンピック札幌大会の3か月前に竣工した19階建ての札幌市役所は、当時の札幌では最も高い建物でした。

市役所ロビーの棚には、オリンピック開催に向けて多くのパンフや資料がたくさん置かれていました。中学生の私は級友たちと資料集めに出かけましたが、資料収集をする前にエレベーターで最上階まで上って、帰りは階段を一気に走り降りて遊んでいました。当時の市役所職員の方、ごめんなさい……



写真-1 大会案内パンフ

2. 進撃の SAPPORO

市役所のオープンにつづき、相次いでさっぽろ地下街(1971年11月)、札幌市営地下鉄(1971年12月)が供用開始されましたが、今から思うと札幌はオリンピックを機に近代都市に向けて急進撃をしていたのです。まさに進撃のSAPPOROでした。

また、地下街ができてから街中で外国人客を目にすることが増えました。北海道で生まれ育った中学生の私には物珍しく、外国人を見つけてはサインをねだりに行ったものです。そのような体験からで

も、札幌の国際化を身近なものとして感じていったものです。



写真-2 外国人向けの電話帳と案内パンフ

オーロラタウンにはSTVのサテライトスタジオがありましたが、札幌オリンピックのテーマソングである「虹と雪のバラード」のレコードを無料で配布するというので、2度も並んで2枚のレコードを手に入れました。ちなみに、当時のオーロラタウンにはトレビの泉のような人工の小川もありましたね。



写真-3 カレンダーに貼り付けたソノシート

3. SAPPORO '72 コレクション

私の宝箱に収納されているその他のコレクションをご紹介しますが、企業もオリンピックに便乗していろいろなグッズを作製しました。



写真-4 清涼飲料水の王冠、マッチ、ワッペン

当時の広報さっぽろの表紙には札幌市の人口が記載されていますが、開催年の1月号は103万人であったのが、2月号では104万人になっています。

内容を覗いてみるとオリンピック施設に関する記事がトップですが、その他には「4月1日から区制が施行されます」、「助役定数を三人に／企画調整局・環境局を新設」などの記事が掲載されています。



写真-5 広報さっぽろの表紙

開会式や競技の様子が大々的に報じられた新聞記事です。新聞広告の懐かしい商品もオリンピック一色でした。



写真-6 1972年2月4、5日の新聞

前号で住友さんが、真駒内で観たアイスホッケーが人生を変えたと書かれていました。私がオリンピックで唯一観戦した競技もアイスホッケーでしたが、なぜか対戦国さえ覚えていません……

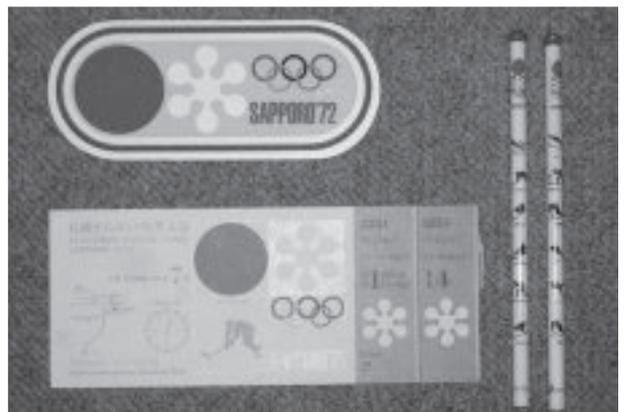


写真-7 チケット、公式ステッカー、鉛筆

札幌で開催された大きなイベントは、私のなかでは1968年の全国菓子大博覧会と北海道大博覧会でした。それを超えるビッグイベントに大はしゃぎして東奔西走した割には唯一観戦した試合内容を覚えていないというのは、なんと情けないことか……

それでも札幌オリンピックは私には忘れられない思い出です。

対馬 一 男 (つしま かずお)

技術士(建設/総合技術監理部門)

北武コンサルタント株式会社
日本技術士会北海道本部幹事
エンジョイ・サイエンス研究委員会

